

予算審査特別委員会

総括質疑

深見 迪 議員

「特別支援学級の運営は」

問 今年の5月末に道教委から「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について」という通知が来ているが、本町の場合実態はどうか。

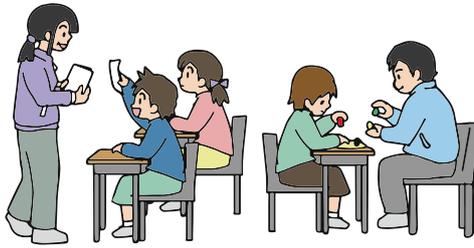
特別支援学級の適切な運用が行われていない例があるとして、文科省が基準を作ること自体が、私は間違っているのではないかと考えるがどうか。

この通知にとらわれることなく親のニーズや子どもの実態に合わせた特別支援学級の運営をするべきと考えるがどうか。

答 本町では、すべての学校に特別支援学級がある。各学校、子どもの発達の状態、保護者のニーズなど丁寧に相談しながら適切に授業が行われている。

教育課程の編成については、学校長が行うものである。令和4年度の

分は4月にスタートしてから通知が来たので学校も戸惑っている。本町のすべての学校が子どもの状況と保護者の願い・ニーズ、これからの成長を願う計画に基づいて編成している。



類瀬 光信 議員

「コロナ予防と牛乳の消費拡大に特保の乳製品を」

問 牛乳券配布により牛乳廃棄は減った。一方で牛乳券は、用途が限られ使い難いといわれる。大人の3人に1人が乳糖不耐症で牛乳が苦手ということも一因か。コロナ予防は、3度目のワクチン接種を終え、4回目以降は、接種範囲が狭まる。液性免疫頼みから、積極的に自己免疫を上げて感染を予防する局面を迎えたようだ。牛乳券が特保の乳製品に使用できれば、コロナ予防牛乳の消費拡大を両立できるのではないか。

答 牛乳贈答券は発行元があつて原則的には牛乳しか買えない状況だが、町独自の贈答券について検討したい。また、特保を中心とした免疫力向上については健康指導等に対応する。



「(医食同源)を体現している権兵衛村を存続すべき」

問 権兵衛村は、野菜作りを通して町民の健全な心身を育んでいる。標茶高校も野菜作りに敷地を開放し、町民との交流拠点としてきた。しかし、標茶高校の農園は今年度から貸出し中止。権兵衛村も今年度限りで事業が終了する予定だ。

3%が人工透析患者になるといわれる糖尿病は、医療費増加の一因だ。野菜を作り、食す町民が増えることは、糖尿病関連の医療費削減につながる。権兵衛村は、なくすべきでない。

答 権兵衛村については、入村者の減少によるものと、現在民有地を無償で借りているものであり、今後宅地利用も想定されることから昨年度の閉村式で利用者の方々にも理解されているが、標茶高校の利用も含め事業の継続について検討したい。

類瀬 光信 議員

「町民の小さな声にも耳を傾けることが大切だ」

問 第一回定例会において、「町づくり町民ポスト」に寄せられた意見の取扱いについて、一部丁寧さに欠けたのではと質した。また、職員の見解を指摘した町民から、公開質問状により問題提起されていることについても質した。それぞれ、その後どのように対応されたのか聞く。文書やメールでは伝わらない微妙な心情もあるはずだ。真摯に向き合っている町民に対して、町の誠意を直接言葉で伝えてもよいのではないか。



答 町民ポストの関係は申し訳ないが、滞っている状態である。職員

の任用の件については、回答書で現在やり取りをしている状況である。町民との直接対話については、貴重なアドバイスを頂いたと受け取っている。

黒沼 俊幸 議員

「阿歴内地区の防災井戸の進捗状況はどうなっているか」

問 阿歴内地区の防災井戸は、使用不能だが新たな防災井戸を掘る計画はどのようになっているか。

答 地質調査を進める一方、公共用地利用も検討し、業者に水源の可能性も含め水質検査等の委託を進めている。



「旧阿歴内小学校の教員住宅に入居希望があるが使用はできるか」

問 セントラル牧場の隣で乗馬体験の事業が計画されており、そこで働く人が住宅を求めている。旧教員住宅が適当とのこと、管理者の町に入居可能な状況か伺う。

答 希望者があれば地域会とも協力し合い、有効利用に努めるよう努力していく。

鈴木 裕美 議員

「緊急時の生理用品の配置を」

問 今の児童、生徒の発達は心も体も早く、体もデリケートだ。そのため突然生理がくる場合がある。女子用トイレに生理用品を置くことですぐに対応ができる。良い学校生活を送れるように緊急用生理用品を配置するべきだ。

答 将来的にはそうなるかもしれないが現状で学校でどう対応するかであり、学校現場で今取り組んでいる保健室と養護教諭の関わりを大切にしていきたい。

「権兵衛村事業の継続を求める」

問 健康増進と家庭菜園づくりの場所「権兵衛村」が今年度で中止するのはなぜか。代わりの土地として高校の敷地を考えているようだが、区画全てが埋まっており使用できない。町民の楽しみを奪わないよう事業の継続を求める。

答 土地所有者から無償で借用して利用していたが、市街地で区画割されている事から今年度で使用を終了し、土地を返還することになった。昨年度の閉村式で利用者の理解を得ている。

類瀬委員への答弁のとおり高校に確認し事業継続に向け検討したい。



令和4年 第2回 臨時会

(補正予算)

議案第26号

令和3年度標茶町一般会計補正予算(第15号)

一般会計補正予算が133億9,152万5千円(1,182万5千円の減額)となりました。

議案第27号

令和3年度標茶町病院事業会計補正予算

資本的収入の出資金、補助金の差し引きで1億804万4千円から1億822万円となりました。

議案第28号

令和4年度標茶町一般会計補正予算(第1号)

一般会計補正予算120億2,962万7千円(6,662万7千円の追加)となりました。

(その他)

報告第2号

専決処分した事件の承認について

令和3年度標茶町一般会計補正予算(第14号)が承認されました。

議案第25号

標茶町新型コロナウイルス感染症対策基金条例の一部を改正する条例の制定について
標茶町新型コロナウイルス感染症対策基金条例の一部が改正されました。

消防総合演習が行われました

令和4年5月22日に「令和4年度第48回釧路北部消防事務組合総合演習」が鶴居村にて行われました。コロナウイルス感染拡大に伴い3年ぶりの演習となりましたが、標茶からは消防議員として3名の議員が観覧に参加しました。標茶消防団30名、鶴居、弟子屈合わせ延べ約150名が参加しての演習となりました。この日は5月とはいえ曇り空の少し湿度の高い天候でしたが、消防服を身にまとい迅速に消火活動する消防団員の姿は、日頃より行われている訓練の賜物だと感じました。多岐にわたる活動には危険も付きものでありますが、消防団員・職員の皆さんの無事故・益々の活躍を願います。

